

# 座談会

## 芦高での生活を顧みて

—— 母校の発展のために ——

とき 昭和45年8月23日(日)

ところ 芦高図書館

### 出席者

- 21期生(昭和38年4月入学～41年3月卒業、永井学年)  
多屋佐知子(県立有馬高校教諭)
- 22期生(昭和39年4月入学～42年3月卒業、碓井学年)  
雑賀 誠一(大阪外国語大学、英米語学科在学)  
野村 敬三(京都大学、理学部在学)  
太田 京子(甲子園双葉幼稚園教諭)
- 23期生(昭和40年4月入学～43年3月卒業、谷川学年)  
久保富三夫(京都大学、経済学部在学)  
山本 紀子(神戸外国語大学、英米語学科在学)
- 24期生(昭和41年4月入学～44年3月卒業、金崎学年)  
松浦 孝夫(関西学院大学、経済学部在学)  
坂元 洋子(関西学院大学、文学部在学)
- 25期生(昭和42年4月入学～45年3月卒業、新堀学年)  
久保 敦子(奈良女子大学、家政学部在学)  
柳田 孝子(藤沢薬品KK、社員)  
相葉 洋一(京都大学、経済学部在学)

司会 建 武(本校教諭) 武藤 卓也(本校教諭)  
記録 飯尾 和夫(本校教諭)

**司会** 今年は本校の創立30周年ということで、それを記念して、「芦高30年史」を発刊することになりました。それに載せます座談会をこれから皆さん方にやって頂くわけです。大学に通っていらっしゃる方、社会に出ておられる方、それぞれに大切な夏休みの1日を、せっかくの日曜日をこの座談会にご出席願ったわけで、まずお礼を申し上げたいと思います。故郷に帰った気持で、気軽にお話し願えたらと思います。この座談会がどういうものになるか、私どもにもわからないのですが、結論として、とにかく母校の発展につながるものであれば、

どんな話題でも結構です。

では、まず自己紹介からお願いいたします。多屋さんからどうぞ……。

### — 自己紹介 —

**多屋** 21期生の多屋です。大阪市立大学の家政学部を出て、今年から県立有馬高校の家庭科の教諭をしています。仕事柄、高校生とずっと付合っているわけですが、今日は新しい卒業生の皆さんから、現代高校生気質を聞かせて頂いて、私たちの頃と現在とをいろいろ比較して考えてみたいと思います。芦高在学中は、クラブはバレーボール部に入っていました。

**雑賀** 22期生の雑賀です。大阪外大の英米語学科に行っています。在学中は自治会の書記長をしていました。将来のことはどうなるかわかりませんが、専攻の語学を生かせる方面に進みたいと思っています。

**太田** 同じく22期の太田です。現在ある教会付属の幼稚園（甲子園双葉幼稚園）に勤めています。芦高在学中は茶道部に入っていました。

**野村** 22期生の野村です。現在京大で生物の研究をやっています。芦高にいる時は吹奏楽部に入っていました。やがて社会に出るのですが、高校の生物教育について強い関心を持っています。何か参考になることがあれば、聞かせて下さい。

**山本** 23期の山本です。神戸市立外大、英米語学科に行っています。芦高時代はワンダーフォーゲルとE・S・Sに入っていました。今英語を生かして万博でホステスをしています。まだ大学在学中で、温室にいるようなものですが、アルバイトなどの経験で、高校時代よりは社会のこともよくわかるようになりました。

**久保（富）** 山本さんと同じ23期の久保です。芦高時代は自治会長をやっていました。当時を反省して、今自治会をやっている人に、先輩として何か役立つことがお話しできたら幸いだと思います。現在京大経済学部の2回生です。大学ではクラブに入っていますが、小学生に関心があって、芦屋市の少年団に関係したりしています。将来のことについては、雑賀さんの言われたように、大学で習得した事柄を生かしてやってゆきたいと思っています。

**坂元** 関学文学部2年の坂元です。24期の卒業です。昨日までキャンプカウンセラーとして田舎の方へ行っていました。子供たちとワアワア言って、それですっかり声をつぶしてしまって……。芦高時代1年生の時は生物クラブに入っていて、建先生の指導を受けました。それからバレーボール部へ……。現在子供たちとキャンプなどやるのが楽しいので、将来のことまでは考えてお

りません。夏休みが終わってからゆっくり考えてみるつもりです。

**松浦** 同じく24期生の松浦です。芦高では自治会の副会長をしていました。現在関学経済学部の2回生です。芦高時代をふりかえてみますと、どうもよろしくない副会長だったと反省しています。

**久保（教）** 25期の久保です。現在奈良女子大の家政科に行ってます。芦高時代は自治会を手伝ったり、クラブにも入ったりしましたが、全部中途半端で、余り長続きしませんでした。家政科というと、花嫁修業をするところと思われがちですが、私は、家庭内の人間関係とか、住居の問題とか、広く人間生活の面について考えてみたいと思っています。

**相葉** 25期の相葉です。芦高在学中は、自治会の書記長をやっていました。ぼくらの頃が自治会存亡の境目だったと思います。2年の諸君に立候補者がなくて……。京大の経済学部では、久保さんの後輩です。将来のことはまだわかりません。

**柳田** 同じく25期の柳田です。現在藤沢薬品に勤めています。大学に落ちて慌てて就職しました。卒業の時、担任の先生から、女性だからといって、結婚だけが人生のすべてではない、と聞かされました。それで今は、趣味などを豊かに持つて、大学に行けなかった分まで取り戻そうと必死に頑張っています。

**司会** ありがとうございます。のどを痛めたり、アルバイトをしたり、将来のことに胸をふくらませたり、いろいろあるようですが、どうぞ机上のお菓子でも食べながら、一これ以外にもいろいろ出ますが、（笑）気楽な気持ちでお話し願いたいと思います。

**野村** シャベったことは、みんな記事にされるんですか？（笑）

#### 一 印象に残ること 一

**司会** 活字に載せて工合の悪いことは、係のほうでチェックするのでご安心を……。笑）型破りの座談会に終わってもよしいから、ざくばらんは何でも話して下さい。まず芦高在学中の3年間で、これが一番印象に残っ

ているということ、脳裏に深く刻まれていることを簡単に項目だけ挙げて下さい。今年卒業された柳田さんからどうぞ……。

**柳田** 印象に残る思い出は、1年の時の野外活動で蓼科に行ったこと。2年の修学旅行、黒部行きは信州に対する理解を深めるのに大変よかったと思います。記念祭の合唱コンクールで、1年の時、全校優勝したこと、2年は学年1位、3年はダメだったから言いませんが……。(笑)クラブに入っていなかったせいか、クラスで皆でやったことが、一番印象に残っています。

**相葉** やっぱり自治会のことが一番印象に残っているのですが……。友だちがたくさんできたことです。

**久保(敦)** 私は記念祭の時の前後の楽しかったこと。大学入試という重圧感の中で、よくあれだけいろいろやれたと思います。受験勉強は適当にやって、しかも大学には入れて、みんなに悪いみたい……。

**松浦** ぼくは2年の時の記念祭です。執行委員会室で、夜遅くまでパンをかじりながら、いろいろと計画を練ったこと。3年の記念祭では、自分の立場を越えて、クラスの人と協力していろいろとやったこと……。

**坂元** 2年の時のバレーボール部での活動。どろんこになってやったのが、仲間意識を大いに育ててくれました。いやな思い出は、3年の時の能力別クラス編成、人間関係が非常にまずくなったこと……。

**久保(富)** 3年間忙しく動き廻ったこと。自治会活動には、精一杯努めたつもりですが、活動のみに走り、本を読まなかった……。そのために方向性がわからず、あせりを感じ、生徒諸君に不信感を与えたことが強く印象に残っています。3年2学期の終わり、ベトナム反戦の垂れ幕を教室の窓から垂らしたこと……。(笑)3年の終わりから試験前にかけての忙しい時に、ああでもない、こうでもない、みんなで答辞を作るのにいろいろと話し合ったことなどです。

**山本** 私は芦高生活というと、何といつてももの

びのびと楽しくやれたことです。2年生の夏休みから修学旅行へかけて、記念祭のためのクラブ合宿、合唱コンクールなど。記念祭を迎えて、仮装行列の準備をしたり、ユニフォームのシャツを染めたり、そんなことで仲間意識が持て、団結して、最後に修学旅行に行けました。つらかったとか、悪い印象とかはありません。強いて言えば3年の時は、受験のため、個人の殻にこもり、皆の協力が得られなかったこと。そのことについて、時間をかけて心ゆくまで話し合いが持てなかったのが心残りです。

**野村** ぼくは3年間、クラブ活動以外、何もやりませんでした。授業中は寝てるか、外の景色を見てるか……。自治会にも全然関係しなかった。そういうわけで、芦高時代はほとんどクラブ(プラスバンド部)の中で生活しました。1日に6時間も、時には補習を入れて7時間も授業を受けるわけですが、授業内容には、ムダが多く、寝てるのは論外ですが……(笑)それに情熱が持てなかったのが残念です。

**太田** 芦高に入学した時は、その3月に例の答辞問題があり、上級生なども、政治とか、教育問題などを話していて、何か急に人間の暗さとか社会の暗さに接し、一時はひどいショックでした。3年間通じて、やはりクラブ活動(茶道部)が大きな比重を占めていました。茶道の家元の処へお話を聞きに行ったり、野点をしたり、顧問の奥田幸子先生からは、着物姿は高校生でははで過ぎるとか言って叱られたり、……わりと無茶なことをしました。

**雑賀** ホームルームの指導員のこと。1年各クラスに3年の指導員が2人つくのですが、話してくれることは、一般的なことでなく、学生運動的な、オルグ的なことが多かった。騒音の問題などもありました。ぼくも執行委員会に関係していましたが、そこでは、先生は自治会の動きを押しさえようとしていると、先生に対する不信感を持っていました。生徒と先生の関係を誇大に考え過ぎていたようです。

**多屋** 高校に入ってまず感じたことは、芦高の先生というのは、ただ黙って私たちを見守ってくれるのだなあと思ったことです。高校の時は昼だけにS・H・Rがあり、放課後にはなかった。そのままクラブへ各人が思い思いに行けた。中学の時はそうではありませんでした。印象深かったのはクラブ活動のこと。私がバレーボール部にいた2年の時は、大松監督の根性ものが世間を風靡し、先輩のコーチからひどくしぼられたことです。クタクタになるまで練習させられました。勉強とクラブ活動を両立させるんだと決心して、3年間やり通せたこと。その他すべて自由にできたこと。その代り、自分のことは自分でやらなければならない。何事も自分の時間を計画的に作り出し、有効に使わなければならないと強く感じました。とにかく「自分」というものを芦高生活において考えさせられたのが大きな収穫です。つくづく芦高はよかったなと思います。

**司会** 芦高在学中の思い出や、強く印象に残っていることなどを話していただいたのですが、これからはフリートキングでやっていきたいと思います。2、3人の方から野外活動、修学旅行の話が出ましたが、野外活動は23期の時から始まったと記憶しています。久保(富)君の時はなかったですね。

**久保(富)** ぼくらの時は自由参加です。

**武藤** 希望者を募り、ハチ高原へ行きましたね。

#### 一 クラブ活動 一

**司会** 多屋さんの時は野外活動はなかったですね。修学旅行はずっと九州が続いて、柳田さん、久保敦子さんの時は信州だったですね。記念祭のこと、自治会のことについても、数人の方から意見が出ました。自治会に対しては、全く無関心な人もありました。……、(笑)それからお話の中に、芦高の占めている環境、そのうちの騒音ということがでて来ましたが、現在の芦高は騒音に非常に悩まされています。防音化された

南館ができあがり、現在は中館の防音工事が行なわれており、本年度中に完成されることになっています……。以上の他、芦高の伝統である自由、自主、自律にかかわるようなお話も出ました。

皆さんにとっては、非常に古いことですが、芦高に入る前に、本校について持っていたイメージと、本校に入ってからと、どういうふうに違ったか、そういうようなことを自由に話合ってください。

最近はいわゆる兵庫方式で、以前のような学科試験がなく、のんびりとしている。芦高生を見るのに、兵庫方式で入った生徒と、それ以前の者とを比較すると、私たちが見ても印象が違います。もともと兵庫方式というのは、教科のことは余り考えず、クラブ活動に全力を出させるというのが、大きなねらいだったと思います。ところが、高校に入って来て、そのクラブさえも十分にやっていない。芦高でのクラブ活動は現在きわめて低調です。武藤先生、いかがですか？

**武藤** 45年3月までは地理研の顧問をしていましたが、現在は写真部の顧問です。高校に来ると、クラブに入るのをできるだけ避けるという傾向があり、最近是非常に衰退して来ています。特にE・S・Sとか、出版部とか、数研とか、苦勞するところ、勉強するところは避ける傾向が強い。どのクラブも人数が少なくて、指導も何もできぬのが現状です。写真部ですが、顧問として考えさせられることは、それぞれ自由に好きなことをやっていることです。写真の理論とか、ある一つのまとまった被写体に取り組むということがないのが残念です。一つの課題を集中的に研究する地理研を見ていたせいかも知れませんが……。とにかく、何か一つにまとまってやるクラブが衰退して来ているのが現状ではないですか。兵庫方式に関係があるのかどうかは知りませんが、本当にクラブに入ってよかったという生徒が減って来ています。

**司会** 前の地理研はどうでしたか？

武藤 クラブの部員は平均して12~3人、多い時は22~3人もいました。今は6、7人のようです。地理研の時は、みんなある目標をきめて研究していました。

司会 飯尾先生、出版部の状況はどうですか？  
飯尾 部員は現在10人足らずです。以前は15人位もいたらしいのですが……。しかも、1年生の新入部は毎年少く、今年はたった1人です。年6回発行していた芦高新聞が最近4回位、今年は7月発行ができず、1学期は1回きりでした。部員数の減少で、活動がしにくくなり、出版部の組織がえなども話題にのぼったりしています。2学期以降、3年生が退きますと、残るのはわずかに1年1人、2年1人の2名で、芦高新聞の発行も危ぶまれます。

司会 私が顧問をしています生物研究部も、非常に少く、10人に足りません。数研も弁論も廃部になりました。とにかく、どのクラブも部員数が減って来ており、クラスの中でクラブ入部者は非常に少い。クラブの状況も、以前と今とでは非常に変わって来ています。

少し余談になりましたが、芦高に入ってみたのと、入る以前、芦高について描いていたイメージと違っていたという人は、挙手して下さい。(挙手なし)

#### 一 芦高の自由とは一

松浦 ぼくは神大の付属中から来ました。大多数は神戸高校に行きます。中学3年の時の担任であった道盛先生から、芦高なら自分のやりたいことは何でもやれる、クラブ活動もやれると聞きました。実際に入学してみて、宿題もあまりないし、そのために逆に好きな勉強が思いきりやれるのですが……。先生も、ああやれ、こうやれと口やかましくはおっしゃらない。本当の自由がここにはあると思いました。ですが、その自由も、昔はピカピカ光っていたのが、いまはもうさびついて来て、現在の在校生は、もはやほんとうの自由を味わう努力を怠っているのではないのでしょうか？

山本 中学時代には、私は、芦高についてのイ

メージを持ってはいませんでした。私自身、芦高に行くのは当然のこととしていました。こんなことをここで言っているかどうか、とにかく中学の先生から、ガリ勉強していい大学にいきたいのなら神戸高校へ、自由に高校生活を楽しみたいのなら芦高へ、ということで、それで芦高へ来ました。

(笑)そのイメージは入学してみてもあまり変わりませんでした。芦高に入って、1年の時、建先生から、芦高生は質実剛健の気風を持ってと聞かされて、意外に思いました。(笑)芦高生は自由、自由と軽々しく言いますが、本気になって、自由を求めているようにも見受けられません。

柳田 私は神戸から通っていますが、私の家の近くに神戸高校があります。2年上の芦高生も、中学の先生も、芦高というところは、幅のある学校だとおっしゃった。勉強する人としらない人との層があり、私は遊ぶ方にまきこまれ、勉強しなかったので、大学もだめでした。考えてみたら、いつの間にかのんびりムードにひたっていたってわけです。けれど、3年間やりたいことがやれたし、充実した生活がありました。だから悔いはまったくありません。自由自由とすごく謳われていますが、芦高の自由には、一般に言われている自由とは異なった自由があるのではないのでしょうか？

司会 その、一般に言われている自由と違う芦高の自由というのはどういう……。？

柳田 むずかしいことはわかりませんが、何かやろうと思ったらやれる自由、勉強しようと思えば勉強できる自由があります。

司会 うん、なるほどね……。

野村 ぼくは山手中から来ました。中学の時はかなり縛られていました。今考えてみるのに、先ほど松浦君はよかったと言われたが、芦高の自由はまだ放任の自由にしか過ぎず、放任の自由というものは本当の自由ではないと思います。先生は、この本があるからやりなさい、と言われる。中学では宿題を押しつけられていました。中学から芦高へ入ると180度の転回で、われわれは面

食らってしまう。中学の間にしつかりした教育を受けておればよいのですが、そうでないのが現実です。その矛盾を何とかしなければ……。生徒の自律性を発揮させながら、しかし放っておいたら、教育は成り立たないと思います。大学に入って、他の高校の様子を聞きますと、たしかに、芦高は教師側の生徒に対する弾圧などはありませんでした。だけど、ただ放っておくというのではなく、もう少し教育するというか、生活を指導するというか、そういう面での指導性を先生方に発揮していただいてもいいのではないかと思います。

久保 (富) 中学3年の時の担任の先生のお話ですが、芦高はものすごく自由な学校だ。君のように生徒会をやった者は、芦高へ行くのが一番いいのではないか、と言われた。それで芦高にきました。実際に芦高に入ってみて、なるほど制約は少なかった。ただいま野村さんが言われたように、制約は少くても、生徒自身が行動しなければ意味をもたない与えられた自由がある。何かをやるという具体的行動に現われない自由なら意味がないと言うべきです。中学時代の教育では、自分で何かをやるという教育を受けていない。だから、芦高において、初めから放任されたとしたら、自分たちは何をやっていいかわからない……。

太田 私も同感です。今、幼稚園の保母をやっていますが、毎日の時間割の中に、自由作業の時間というのがあります。子供たちが自分の好きなことをやれる時間なのです。ところが、そんなとき、きまって壁にもたれて、他人のすることをただ見ているだけの子供が何人かいます。その子供たちは、家に帰って、その時間は、幼稚園では何もしなかったと言う。こんなことがあって、私も考えさせられたのです。芦高時代、自由だったけれど、先生方の助言はあまり得られなかった。私自身は好きな本を読んだり、好きなことをしましたが、あまり指導されなかったのが、かえって残念です。

司会 芦高の自由は幼稚園の自由……？(笑)

自主性・自律性のあるなしですね。

多屋 私は自由のはき違えなのだと思います。協同性のある自由が望ましい。対外試合の応援なんかでも、他校の統一ある応援に比べて、芦高のは何かまとまりを欠いていて……。実際みんながもっとまとまって、何事でもできればいいのですが……。

久保 (富) 生徒自体が何をやっていいかわからないのが実情だと思います。これを芦高だけの問題としてとらえるのはおかしいし、とにかく今の日本全体の高校の状況です。いろんなことをつめこまれますが、自分自身どこへ行こうとしているのか、方向性がつかめないでいる。いまの日本の全体的問題です。

多屋 放任されると、今の生徒は方向性を持たず、何もやれない。ですが、重要なのは、学校教育よりもむしろ家庭教育の方です。いまの家庭では子供の独立性を養う教育をしていない。高校で放任されたから方向性が見つけられないというのはいけないと私は思います。家庭での教育、母親教育こそ必要ではないでしょうか。もっともっと家庭で独立心を養い、家庭である程度自分の方向がつかめる教育をしなければ……。いまは家庭の教育が悪いのではないのでしょうか。高校では自分の方から求めて先生の所へ入って行くという態度が必要です。

久保 (富) 家庭も悪いですが、(笑)もっと小学校とか中学校で、子供に自分でやらせる教育をしなければだめだ。何と言っても、小さい時からの教育が大切です。非常に影響が大きい……。

柳田 中学の頃までは、学校では受身で、やれと言われなければやらない。一方家庭では過保護……。こうして芦高へ入って来て、勉強したければせよ、というふうにバツと放ったらかされた時は不安でした。それを乗り越えることができなかつた。芦高のそんな教育にうち勝てませんでした。理想としての芦高の教育はすばらしいですが、受動的なそれまでの教育を受けた者が急に芦高のようなところへ入って、そういう自由

に接すると、とまどってしまいます。幼稚園、小学校の時から、そういう方向で教育すべきだと思います。将来、教師になる方は、この点をもっと考えていただかなければならないのではないのでしょうか。(笑)

久保(敦) 高校に入って15歳。急に大人扱いされますが、正直なところまだ自分でやるのがわからない。山手中では、自主性を先生も重んじられたが、芦高へ来て、何からやっていたのかかわからないとまどいがありました。他校の話ですが、受験本位の高校から来た人でも、聞いてみると、みな自分の時間を作り出し、やりたいことをやっている。私たち自身、何をやるにも、底浅く、うわつつらなのは残念だと思います。

野村 いまいろいろ聞いていて、私が危険を感じるのは、教育が変な方向に行ってしまうということ。中学の時、山手中では、ぼくは自主性がなく、またそういったものを尊重もしなかった……。 (笑) 高校時代において、何もしなければ、壁にもぶつからない。生徒個人が創造性の芽を伸ばせば、必ず壁にぶつかるはず。自由だというけれども、芦高においても、実際もっと自由にせねばならぬところがあると思います。

久保(富) ぼくが思うのに、今までの芦高は日本全体からみると、前向きに進んで来た。今後はそれを更に深く伸ばすべきだ。中学までの教育をこそ考えるべきだと思う。それが反対になったらおかしなものになる……。

#### 一 服装の自由化 一

相葉 自由というものは自由でありたいと願う気持があってこそ出てくるものだ。芦高だけを切り離して考えてはいけないと思う。服装の自由化など、3年間在学中、全く思ってもみなかった。時勢の推移とはいえ、驚かされる。芦高だけの問題ではないということ。です。

司会 服装の自由化は、今年生徒大会が開かれ、採決の結果、全面自由化となり、職員会議で検討の上決定しました。

柳田 服装の自由化で、いままでと何か大きく

変わったことがありますか？

司会 ここにご出席の方は自由な服装をしておられる。まあ、この延長と見てもらったらい。超ミニミニの女の子なんかも中にはいます。(笑) 自由化といっても、極端に過ぎるものは、当然淘汰されようし、自然の成行き、世間的成行きにまかせれば、落ちつくところに落ちつくと思われ。学生服というのは、日本独特のもので、早晩、自然になくなるものです。

野村 服装の自由化によって得られる気分は、非常にいいのではないかと思います。

山本 芦高生には服装に制約はありませんが、しかし、内面的に高校生としての責任があります。それは服装自由化の裏にある責任ということ。これはたいせつなことです。いま先生のおっしゃった、服装は落ちつく所におさまるとのお考えはすばらしいと思います。

柳田 女の子ではおしゃれになるでしょうが、清潔なおしゃれが望ましい。実際は女子よりもかえって男子の方がはでなのでは……？(笑)

武藤 自由化されたので、女の子がジーンズはいて登校とか、全体から見ると変わって来ています。しかし、服装について、とことん自分で目新しい服を求めて頑張っても、お金がないから続かぬのではないですか？

司会 結局、資本主義社会体制に流されて行っているということ……。 (笑)

武藤 会社にもうけさせてやっていることになる……。

久保(富) みなで話し合っ、生徒自身で、というのは非常にいい……。ちょっとはでなかつこうをしているのが見受けられますが、先生はそれにいらいらする必要はない……。 (笑)

司会 私はしていない……。 (笑)

武藤 たくさんそうなって来たら、別に驚きもしません。

久保(富) 高校生の関心が服装に集中してくると、もう一つの大事なと、勉強していくことと、さらにもっと大切なこと、を考える高

校生の成長の眼が外らされる……。

司会 今までは中学から芦高へ入った時のことを主に語ってもらいましたが、在学3年間のことは午後にご話していただくとして、一足飛びに芦高から大学または社会に出て、他校の卒業生と接触しての、芦高との違いというふうなことについて発言していただきたい。

久保(教) 高校において、物事についてじっくり考えるということは大切なことです。私たち、もっと物事について深く追求せねばいけないと思います。社会問題に対する追求などが、3年間の芦高生活では私の場合欠けていました。大学に入ると、学生問題もありますけれど、それが要求される。やはりもっと関心を持たないといけないと痛切に感じました。

司会 では、具体的にどのようなことですか？

久保(教) たとえば共産党宣言を読まされたりします。始めは強制であっても、読むうちに、いろいろ考えさせられる。こういう問題を大学に入っていきなり示されても、どう考えたらよいかわかりません……。

野村 大学というところは、さまざまな人の集りで、みなさんそれぞれの高校で制約を受けて来ている。社会や文学、政治経済などを、いままでの高校の教科書からはずれて、自由な環境で深く見つめようとする人間が集っている。……

多屋 大学に入って、芦高ってよかったなあと思います。休講や自由な時間があるのは、芦高の時とあまり変らぬと感じました。それで大学に入って、いろいろなことがやりやすかった。芦高を出てよかったとつくづ感じました。芦高時代は、自由な時間をむだにせず、最大限に私は活用しました。

司会 芦高卒のみなさんは、それぞれが時間の活用の仕方を体得したという……。(笑) 大学での友人から、芦高はどうかと聞かれて、相手がびっくりするようなことはどういふことですか？

#### — 能力別クラス編成 —

多屋 能力別のクラス編成というのも芦高独特

です。他の高校はそこまでやってはいないようです。

司会 能力別だとか、学力別授業とかいうのは、ことし4月以降はやっていません。文・理の別は2年からやっていますが、今はそれだけです。

久保(富) 能力別の問題は、他校にもあります。生徒のそれに対する反対運動は聞きません。芦高はやってるのかとよく聞かれる。芦高は自治会活動で、記念祭などクラスでよくまとまってやっている。芦高生はみんな団結しようとして、いろいろやって来ましたが、これはよい経験だと思います。

相葉 能力別はどこ的高校も同じです。大した問題ではない。現在の高校生活に疑問を感じているのは、何も芦高だけではなく、全国共通です。芦高のいいところはたくさんあります。記念祭などはとてもすばらしい……。

坂元 たいして他校と違いません。要するに、どこ的高校も、受験のための勉強、進学準備をしているということです。芦高は自由だと言いますが、あくまで与えられた自由、主体性のない自由だと私は思います。ところで、私は芦高の中で、目に見えぬ束縛を感じました。私は高校時代に自由を使い切れなかったのも、ものすごく悔いがあり、大学では今したいことをしている充実感があります。先程、芦高は自由で、充実感があったと言われたが、私の場合は違った。能力別クラス編成について、心の中では反発しながらも、先生に聞き訊すとか、討論することすらもなかった。あきらめてしまつて、情熱のない生活だったと思います。

司会 坂元さんのご意見は、他の方々とかかなり違うようですが、とにかく芦高生活についていろいろと語っていただいたわけですが、午後は、それらについてさらに具体的な事例を述べていただくつもりです。野外活動、修学旅行などについても話して頂きます。

武藤 机上にお配りしています芦高小史のプリントを思い出の材料にして下さい。